

✓印の取扱説明書です	
	DF-S12S
	DF-S17S
	DF-S22S
	DF-S41S
	DF-S55S
	DF-S81S
	DF-S91S
	DF-S130S

この取扱説明書は、必ず最終ユーザー様までお届けください。

保存用

# 自立型 デミフィルタ 取扱説明書



## 【ご使用前に必ずお読みください】

- ◇この度は、自立型 デミフィルタ をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
- ◇本書では、自立型 デミフィルタ を 安全に効率よくご使用いただくための必要な事項を記載しておりますので必ず習読してください。
- ◇本書はお取り扱いになる担当者のお手元に確実に届くようお取り計らいください。
- ◇本書は大切に保管し、必要なときにいつでもお読みいただけるようにしてください。
- ◇本書の改訂および本製品の改良を予告なくおこなうことがあります。
- ◇ご不明な点がございましたら、当社までお問い合わせください。

⚠火災防止のため、爆発性ガス・有機溶剤・火気 は絶対に吸引させないでください。

⚠爆発性雰囲気となる可能性のある場所には設置しないでください。

⚠デミフィルタは耐圧構造にはなっておりません。デミフィルタには微少なすき間がありますので、ご使用の際にはデミフィルタの下にオイルパンなどを設けてください。

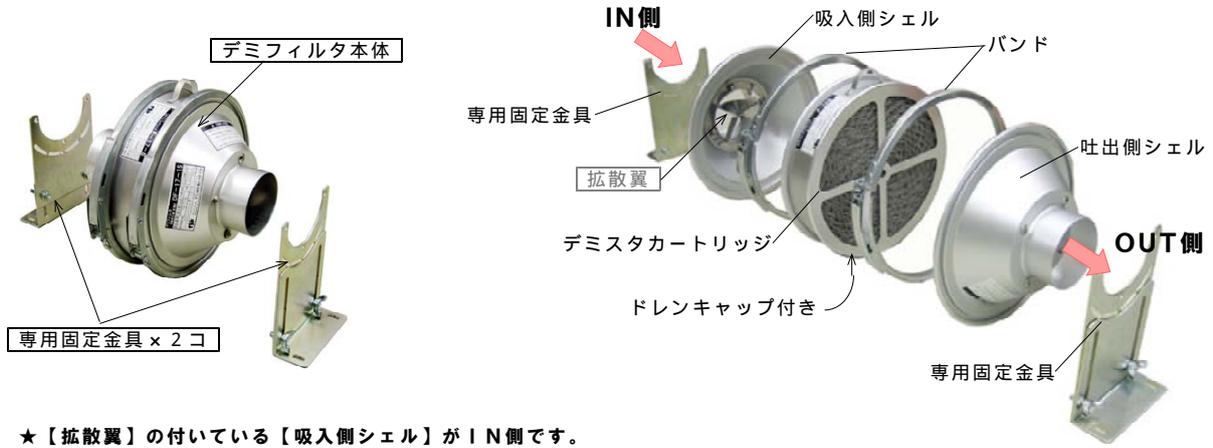
⚠デミフィルタのカートリッジは細い針金で構成されていますので、お取り扱いの際には軍手などの手袋をして充分にご注意ください。

⚠デミフィルタは定期的に点検・清掃をおこなってください。 また、ドレンキャップを外して定期的にドレンの排出をおこなってください。

◆以下のパーツがそろっていることをご確認ください。

- ・自立型 デミフィルタ 本体×1台
- ・取扱説明書（本書）×1部
- ・専用固定金具×2コ

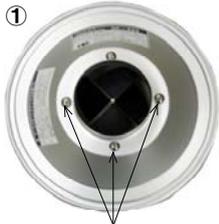
【デミフィルタ 構造】 ...DF-S12S～DF-S81S



★【拡散翼】の付いている【吸入側シェル】がIN側です。

◆専用固定金具 取付時の注意

【吸入側シェル・吐出側シェル表側】



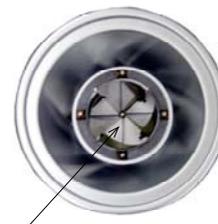
① 【吐出側シェル】【吸入側シェル】のネジを各3コ外し、このネジで【専用固定金具】を取り付けてください。

★各シェルの裏側には【拡散翼】と【補強板】がネジ止めされています。【専用固定金具】を取り付ける際には、【拡散翼】又は【補強板】を一緒にネジ止めしてください。

※このネジ×3コを取り外してください。

★【デミスタカートリッジ】の【ドレンキャップ】が真下になるようにセットしてください。

【吸入側シェル裏側】



【吐出側シェル裏側】



【MODEL:DF-S91S】

※自立型デミフィルタ DF-S91S、DF-S120Sは バンドではなくパチン錠で【デミスタカートリッジ】をセットするタイプです。

固定金具の取付方法やデミフィルタの構造は、DF-S12S～S81Sと同じです。

#### ◆ご使用上の注意

◇デミフィルタは耐圧構造ではないため、性能上問題のない微少なすき間があります。

◇ドレンキャップ部周辺からは、熱風発生機の運転中 及び 停止中に除去された油分などがにじみ出る可能性がありますので、デミフィルタの下には必ずオイルパンなどを常時設置してください。

◇定期的にドレンキャップを外して、ドレンの排出をおこなってください。

◇定期的に点検・清掃をおこなってください。デミスタカートリッジは洗浄して再生することが可能です。デミフィルタが目詰まりすると熱風発生機の風量が減少し、消費電力が増加する原因となります。



◇自立型デミフィルタを配管される際には、必ず【拡散翼】の付いている【吸入側シェル】をI N側にしてください。【吐出側シェル】をI N側にすると、効率が悪くなりメンテナンスサイクルも短くなります。

#### ◆配管上の注意

◇配管接続される場合、【吸入側シェル】【吐出側シェル】に接続荷重が掛からないようにしてください。無理な荷重（締め付けすぎ、繰り返し振動荷重、ねじり荷重、引っ張り荷重、押し荷重、曲げ荷重など）により破損の恐れがあります。

◇設置される場合も同様に無理な荷重がデミフィルタに掛からないようにしてください。また、微振動などの影響により加工硬化、せん断荷重などにより破損する恐れもありますので、微振動がデミフィルタへ伝達しないようにしてください。

◇自立型デミフィルタは 本紙【専用固定金具 取付時の注意】を参照し、【吸入側シェル】【吐出側シェル】の両側で確実に固定してください。 ※偏荷重は厳禁です。

#### ◆メンテナンスについて

◇デミスタカートリッジは洗浄して繰り返しご使用いただくことができます。

中性洗剤等を用いて浸け置き洗浄をしてください。

※お湯で浸け置き洗浄をすると、比較的汚れは落ちやすくなります。

※熱湯などは使用しないでください。火傷の恐れがあり危険です。

◇デミフィルタを高圧洗浄する場合は、約500mmの距離から約5MPa程度の水圧で洗浄してください。エアが通過できる程度の洗浄で十分にフィルタとして効果は得られます。フィルタへの着色（錆や油分付着等）を除去するため、より高い水圧や近接距離での洗浄をおこなうとフィルタが破損する恐れがありますのでご注意ください。

◇汚れがひどい場合は、別売の追加パーツ【デミスタカートリッジ】…バンド1コ付属 をご購入ください。

#### ◆追加パーツについて

◇デミフィルタは別売の追加パーツ【デミスタカートリッジ】をご購入いただき、積み重ねてご使用いただくことも可能です。捕塵量がUPしますので、メンテナンスサイクルの延長が可能です。

※DF-S91S、DF-S120Sは【デミスタカートリッジ】の積み重ねはできません。

◇追加パーツには【使い捨てフィルタカートリッジ】もご用意しています。熱風発生機の吸入エアに粉塵等が多い場合などには【使い捨てフィルタカートリッジ】を積み重ねてご使用ください。

※DF-S91S、DF-S120S対応の【使い捨てフィルタカートリッジ】はございません。

※詳しくはカタログをご参照ください。

製造・販売



株式会社 関西電熱

本 社 〒577-8566 大阪府東大阪市高井田西5丁目4番18号

TEL:(06)6785-6001 FAX:(06)6785-6002

ホームページ www.kansaidennetsu.co.jp/